



宝永小だより

No.13

福井市宝永小学校
令和6年10月2日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にできる子

4年生 防災について考える 9月12日(木)

社会科「自然災害からくらしを守る」の学習の一環とし



<意見交換する子どもたち>

て、日本赤十字社福井県支部 事業推進課 嘱託 ○○○○ 様による防災出前授業が実施されました。将来起こりうる自然災害に対する正しい知識をもち、自ら考えて判断し、危険から身を守る行動をとらなければなりません。子どもたちが主体的に防災に取り組めるよう、「気づき、考え、実行する」力を重視した授業が行われました。

まず、本年元日に発生した能登半島地震等についての説明の後、子どもたちは、自分が避難所に持って行くものを考えました。衣類・毛布・食料・水・薬・本・家族や友達の写真・ゲーム・お金・携帯電話の中から選びました。ただし、かばんのイラストの白枠内に収まるものしか持って行けません。子どもたちは、しっかり考えて、持って行くものを決めました。そして、ペアになって、選んだものを見せながら、なぜ、それを選んだのかを中心に、意見交換をしました。さらに、グループになって、家族で避難するとき、避難所に持って行くものを相談しました。

災害に備えて、どんな準備をするよいかを考える良い機会となりました。9月21日から22日にかけて大雨の特別警報が出されて記録的な大雨となった能登地方の被害のことを考えると、災害への準備をするとともに、災害が起こったときに、ただちに命を守る行動がとれる能力を身につけてほしいと思います。

<4年児童の振り返り> わたしは、写真を見て、「あんなに大きな坂もこえてしまうほどの大きなつなみが来たんだな。」と思い、とてもびっくりしました。だけど、そんな大きなつなみも、もしかしたら、わたしが生きているうちに来るかも知れないと思い、こわいです。けれど、ぼうさいバックを作ったりして、本当に来たときもパニックにならないように、そなえておきたいです。

<4年児童の振り返り> わたしは、今まで、ひなんするということになったら、じゅんびしてから行くのだと思っていたけど、いざというときは、何も持たずに、自分の命をゆう先したり、家族の命をゆう先したりすることがわかりました。わたしは、じゅんびしていないので、家族が全員いるときに話し合って決めようと思いました。

6年生 「福井市小学校スポーツフェスタ」に参加

6年生の子ども

たちが、セーレン・ドリームアリーナ(県営体育館)で行われた「福井市小学校スポーツフェスタ」の初日の午後の部に参加しました。

ニュースポーツ体験(フライングディスク・ボッチャ・スティックリング・卓球バレー)の中から、本校の子どもたちは卓球バレー(日本発祥のユニバーサルスポーツ)とスティックリング(福井県発祥ニュースポーツ)に挑戦しました。子どもたちにとって、初めての体験でしたが、力加減を調整しながら得点を競い、みんなで楽しむことができていました。さらに、9.98 スタジアム(陸上競技場)の見学もできました。残念ながら、熱中症対策のため、ホームストレートを走ることはできませんでしたが、400mコースを歩いてみる事ができました。



<卓球バレーの様子>



<スティックリングの様子>

今回のニュースポーツの体験を通して、子どもたちは得手不得手に関わらず、スポーツを楽しみ、興味・関心を高めることができました。今後も、子どもたちが、豊かなスポーツライフを実現していくことを願っています。

<6年児童の振り返り> このニュースポーツ体験は、勝ち負けを楽しむのではなく、友達と協力することや他の学校の人とふれあう楽しさを改めて実感しました。最初は、知らない人ばかりでいきなり話していたけれど、ゲームをしていくと、知らないうちに知らない人と話していて、自分でもびっくりしました。今日のこのスポーツフェスタで学んだことをこれからの学校生活に生かしていきたいです。また、スティックリングも卓球バレーもすごく楽しかったので、またやってみたいです。

<6年児童の振り返り> ぼくは、スポーツフェスタに参加して、思ったことが2つあります。1つ目は、いろんな人がスポーツができるように工夫されているところです。卓球バレーは、障がいのある人や高れいの人でもできるよう、すわってできるということと、視覚障がい者の人もできるよう、球から音が出るから耳で聞き取れるという工夫がされています。ぼくは、この話を聞いて、みんなができるように考え込まれていて、すばらしいことだと思いました。2つ目は、スティックリングや卓球バレーをみんなに知ってもらうために、がんばっているいろいろなイベントをしてくれる方々のことです。スポーツがやりたくてもできない人にいろいろな夢と希望を与えてくださっていると思いました。これからも、スポーツに関するイベントがあったら、積極的に参加したいです。

<6年児童の振り返り> 9.98スタジアムでは、入ったしゅん間にもものすごく広くてびっくりしました。ここを走ると思うと、つかれるなあと思いました。何かしら機会があれば、また来たいなと思いました。

<9.98スタジアムの様子>



5年生 古着回収段ボール設置 9月19日(木)・20日(金)

総合的な学習の時間に、環境について

学んできている子どもたちは、6月20日(木)に、ユニクロの担当者から、「届けよう、服のチカラ」プロジェクトと題して、SDGsや難民支援の現状などについて学びました。このプロジェクトは、ファーストリテイリングがUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともに取り組む、参加型の学習プログラムで、子どもたちが主体となって、校内や地域で不要になった子ども服を回収し、慢性的な服不足に悩む難民の子どもたちに提供するというものです。



<児童玄関の回収箱>ました。

このプロジェクトに取り組んでいる子どもたちは、古着回収のために、ポスターを作ったり、回収段ボール箱を用意したりして、準備を進めてきました。そして、子どもたちは、各施設へ回収箱設置のお願いの電話をし、了承を得ることができました。進明中学校・まつのき児童館・宝永公民館・尾上幼稚園・北部保育園・聖徳幼稚園・聖三一幼稚園・グルメ館松本店の許可を得て、この日は、各施設に古着回収用の段ボール箱を届けに行きました。この段ボールには、子どもたちが作ったポスターが貼ってあります。施設等は10月4日(金)まで、学校は10月7日(月)までの回収となっています。本校の児童玄関に設置した回収箱には、早速、古着が入れられていました。ご協力、ありがとうございます

子どもたちの「慢性的な服不足に悩む難民の子どもたちに提供したい。」という熱い思いをご理解いただき、回収箱設置を了承してくださった各施設の皆様、本当にありがとうございました。このプロジェクトでは、不要になった子ども服(赤ちゃんサイズから160cmまで)を回収しています。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

1年生 モルモットのモコちゃんご対面 9月24日(火)

現在の3年生の子どもたちが、1・2年生

のときに世話をしていたモルモットのモコちゃんが、1年生の教室に、戻ってきました。公益社団法人 福井県獣医師会 学校飼育動物事業委員会委員長の〇〇〇〇様とともに、半年ぶりに帰ってきたのです。

まずは、「モルモットのおはなし」をお聴きしました。えさのことや接し方についての説明がありました。モコちゃんは、こわがりだということも教えていただきました。質問コーナーでは、子どもたちから、次々と、たくさんの質問が出ました。「歯が伸びたら、どうするのですか。」「休みの日は、どうするのですか。」などの質問も出ました。ケージの中にいたモコちゃんを取り出すと、「かわいい。」と、子どもたちは、大喜びでした。最後に、一人ずつ、モコちゃんに触らせてもらいました。



<「かわいい。」>

この日から、モコちゃんは、1年生の教室で過ごしています。モコちゃんを見つめているときの子どもたちの目は優しく、自然と笑みがこぼれています。今後、子どもたちがモコちゃんの世話に自ら関わっていくことで、生き物への親しみをもち、生命の尊さを実感してくれることと思います。そして、子どもたちの優しさや思いやりを育成することにも繋がることを期待しています。秋休み明けには、モコちゃんのホームステイ(休日のご家庭でのお世話)も予定しています。

3年生 「宝永の宝」を学ぶ 9月24日(火)

総合的な学習の時間に、子どもたちは、「調べよう 宝永



<「宝永カルタウォークに出発」>

のとびっきりの宝!」をテーマに、宝永地区の歴史に触れながら、地区のすばらしさを学ぶ学習を進めています。この日は、2回目の「宝永カルタウォーク」を実施しました。今回も、2コースに分かれ、宝永1・2・3丁目付近を地域の皆様に案内していただき、子どもたちは、それぞれの場所で、メモを取りながら、熱心に説明を聞いていました。

子どもたちは、「宝永れきしカルタ」をもとに、宝永地区の様々な史跡等を知り、その場に出くわすことで地域の素晴らしさを体感し、地域への愛着を深めています。子どもたちのために案内して下さった地域の皆様、付き添って下さった保護者ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

*9月26日(木)に、校内運動会が無事に終了しました。保護者の皆様には、早朝より、子どもたちの応援に駆けつけていただき、本当にありがとうございました。子どもたちは、練習の成果を発揮し、思い出に残る運動会にすることができました。子どもたちの振り返りの感想等からも、多くのことを学び、意義のある運動会になったことが伝わってきます。詳しくは、次号の「宝永小だより」でお伝えします。

*3年1組担任 〇〇〇〇教諭が、一身上の都合により、9月30日をもって退職いたしました。そのため、〇〇教諭が担当していた授業は、〇〇〇〇教諭が引き継ぎ、3年1組の担任は、〇〇〇〇教諭が担当します。それに伴い、他学級の時間割変更や担当者変更も生じ、ご心配やご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

*〇〇〇〇養護教諭が、10月1日より病気休暇を取っています。子どもたちの怪我や体調不良に関しては、職員室で対応します。ご心配やご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

*本校の周りの横断歩道に、右のような路面シートが貼り付けられています。このシートは、福井県防災安全部 県民安全課の「横断歩道 de 歩行者ファースト」キャンペーンで事故防止の意識醸成を図るものです。横断歩道では、手を挙げるなどの明確な横断意思をドライバーに伝えることで、停止率が約30%も上昇することが分かっているそうです。このシートは、キャンペーンキャラクターの「トマレックス」が描かれており、「とまってよく見て 手をあげて!」と書かれています。信号機のない横断歩道を渡る際に、手を挙げることを促す、このシートを見て、安全に横断歩道を渡ってほしいと思います。



*本校のホームページは、現在、メンテナンスのため、更新が停止しています。再開まで、今しばらく、お待ちください。